

住み慣れたまちで「あなたらしく」

いくつになっても生きがいを
持って、健康で暮らしたい…
医療や介護が必要になっても
住み慣れた家や地域で
暮らし続けたい…



自分らしい暮らしをいつまでも

少子高齢社会を迎え、私たち一人ひとりが、いつまでも健康で、皆で支え合いながら住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるような「まち」が求められています。日常生活の支援から介護や介護予防、医療サービスまでを一体的に提供する仕組みを、地域の特性に応じて皆で築き上げていく必要があります。

自分にできること、共に考えること…

まちづくり研究会の積み重ね

町や社会福祉協議会では、皆さんにこうした現状を伝えるとともに、町の特性を理解し「自分ができること」「これから取り組むべきこと」について皆さんと一緒に考える場として、平成29年2月からまちづくり研究会「いいね・かさまつ」を開催し、話し合いを重ねてきました。

話し合いの中で、少子高齢化や生活形態の変化（ひとり暮らし世帯の増加など）に伴う世代間交流の減少や、地域のつながりの希薄化に伴う町内会や各団体の維持に対する不安、ごみ出しをはじめとする生活モラルの低下など、多くの課題が出されました。



第5回まちづくり研究会の様子

多世代交流 心を通わせること



笠松町あいさつ運動の様子

これらの問題について「子ども、子育て世代から高齢者までのあらゆる世代（多世代）とのつながりと対話が大切」と共通した意見をいただきました。

「あいさつ」は、心を通わせ、情緒的なつながりを持つきっかけとなり、子ども・子育て世代・高齢者など、あらゆる年代に関する地域の理解とお互いを認め合うことにつながります。この「ゆるやかなつながり」の積み重ねから、確かなつながりに発展し、ひいては子育て世代や高齢者の方への困りごとの助け合いにつながると考えます。

多世代とのつながりづくりのために 第6回まちづくり研究会「いいね・かさまつ」

第6回まちづくり研究会「いいね・かさまつ」では、「多世代とのつながりと対話」をテーマに、地域で多世代とのつながりや対話をもつためにどのようにすればよいのかを実際の取り組みやアンケート、聞き取り調査結果を参考に考えます。

あらゆる年代の方が安心して暮らし続けることができる町をめざし、皆さんのご参加をお待ちしています。

【日 時】1月27日(日)午後1時30分～3時30分(予定)
【場 所】笠松中央公民館3階 大ホール
【参加料】無料 ※事前申込みは不要です。直接会場にお越しください。



【問 合 先】健康介護課 ☎388-7171